

定價一銀

公私雜報
第五節



西垣文庫
文庫 10
7290
5



伏稟

迷子 父落 落物 むろひ物 盗まをれ
及び諸賣もの等を多く廣く世に弘め或ら
問う便りを得たき事ありしが少しも遠慮な
く其もよろくの書林又を繪草子屋の事が
を委しく書志ししに遣として其の速に
出板しし四方に告ぐ知らせ申すを以

辰四月

公私雜報會社

西遊文庫



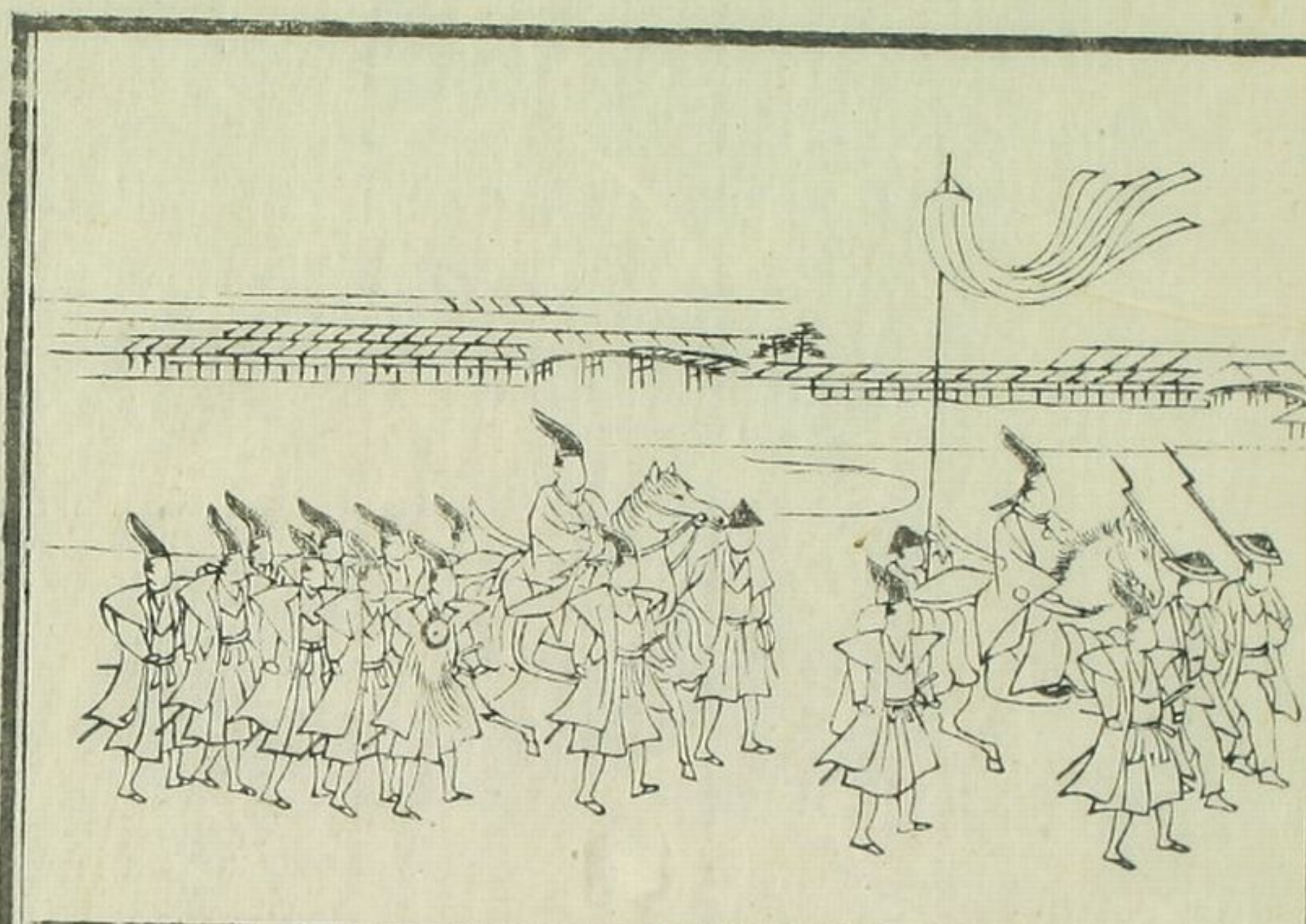
公私雜報第五號

慶應四年閏四月十日

○難波津御幸之記

神武天皇長脚彦命を討く檀原宮より天下志ろしめ
しちるよりあのく代々の帝あるは御幸し
國人を以つてしめぬ或は秋に 神軍を強く不
正をたらし給ひたるも漸く世にゆるみは穢す久
しとお強ありし我ら古に遷し廢する我ら
るの賢き 御時より御親征のころよりまづ
御親征のころよりまづ

公私雜報 第五號



一 御羽車

御辛櫃
水口伊勢守
三上肥後介

油小路侍從隆董朝臣
從者十五人

六角大藏大輔道博朝臣

二 御羽車

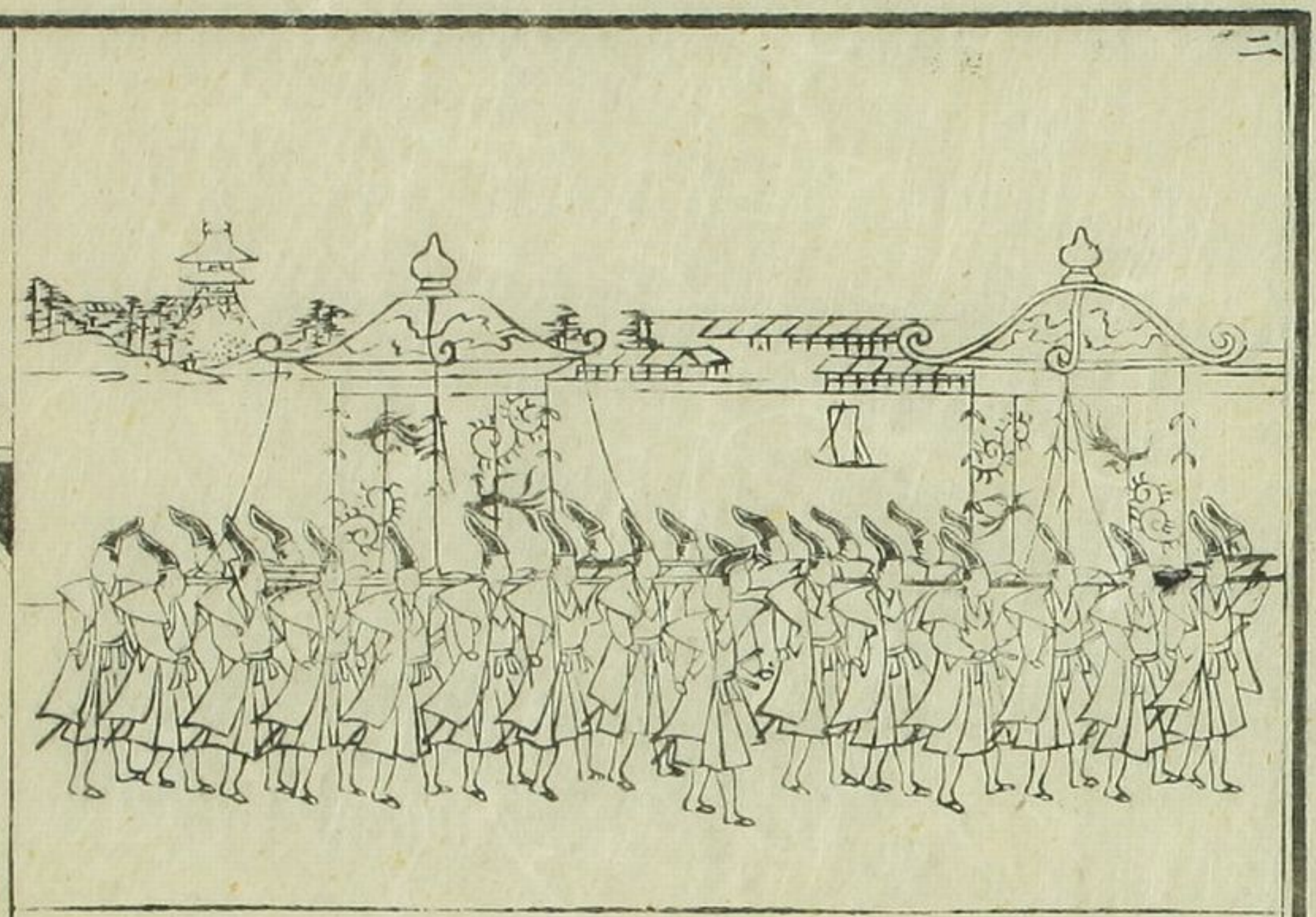
御辛櫃
山本左府生
土山長門介

藤波二位教忠卿
騎馬

白川三位資訓王

萩原二位員光卿


倉橋治部卿恭聰卿



吉田侍從三位良義卿
山口内五權助
山名中務少丞
刀自以下六人

後陣 小出伊勢守英尚朝臣

鏡隊
羣行 雜具
六門 六門

先陣 池田拱津守


市橋下總守長和朝臣

藤堂和泉守高猷朝臣

池田備前守茂政朝臣

加藤遠江守泰秋朝臣



御旗奉行

壬生修理大夫從者三十人 騎馬
 五辻大夫 安中
 河野大夫 実允
 中御門大夫
 東園大夫 基愛
 愛宕大夫 通旭
 坊城侍從 俊章
 万里小路 弁通房
 藁大夫 実方
 西洞院大夫 信愛

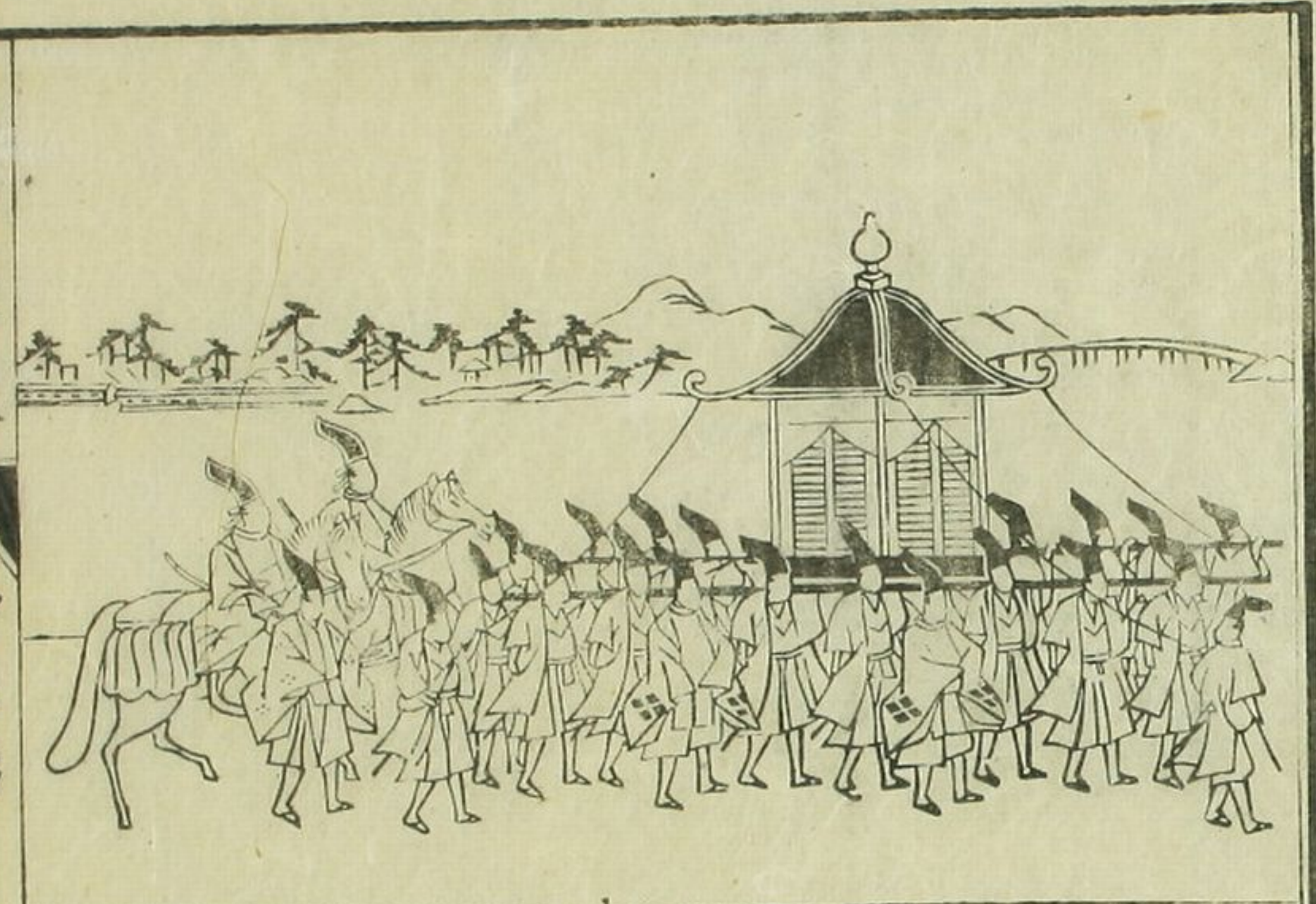


錦御旗

北條相摸守氏恭朝臣
 安藝新少將茂長朝臣
 福井石馬大允
 山中左番長
 青木民部大丞
 藤井左兵衛大丞
 青木左兵衛大丞
 廣瀨筑前介
 櫛田左將監
 大外記 從者十人
 和田森
 草風
 甲形
 勇駒
 男石
 外六人



青木左兵衛權大尉
 岩倉侍從具綱朝臣
 烏丸侍從光德朝臣
 平松甲斐權介時季朝臣
 長谷美濃權介信成朝臣
 千種少將有任朝臣
 園池少將實康朝臣
 高野少將保建朝臣
 植松少將雅言朝臣
 愛宕中將通致朝臣



石山中將基文朝臣
 西三条少將公亮朝臣
 櫛笥中將隆韶朝臣
 東園中將基敬朝臣
 正親町大納言實德卿
 葱華輦 御輿附二百余人
 中山前大納言忠能卿
 三条中納言實美卿
 御板輿
 今城宰相中將定國朝臣
 四辻宰相中將公賀朝臣

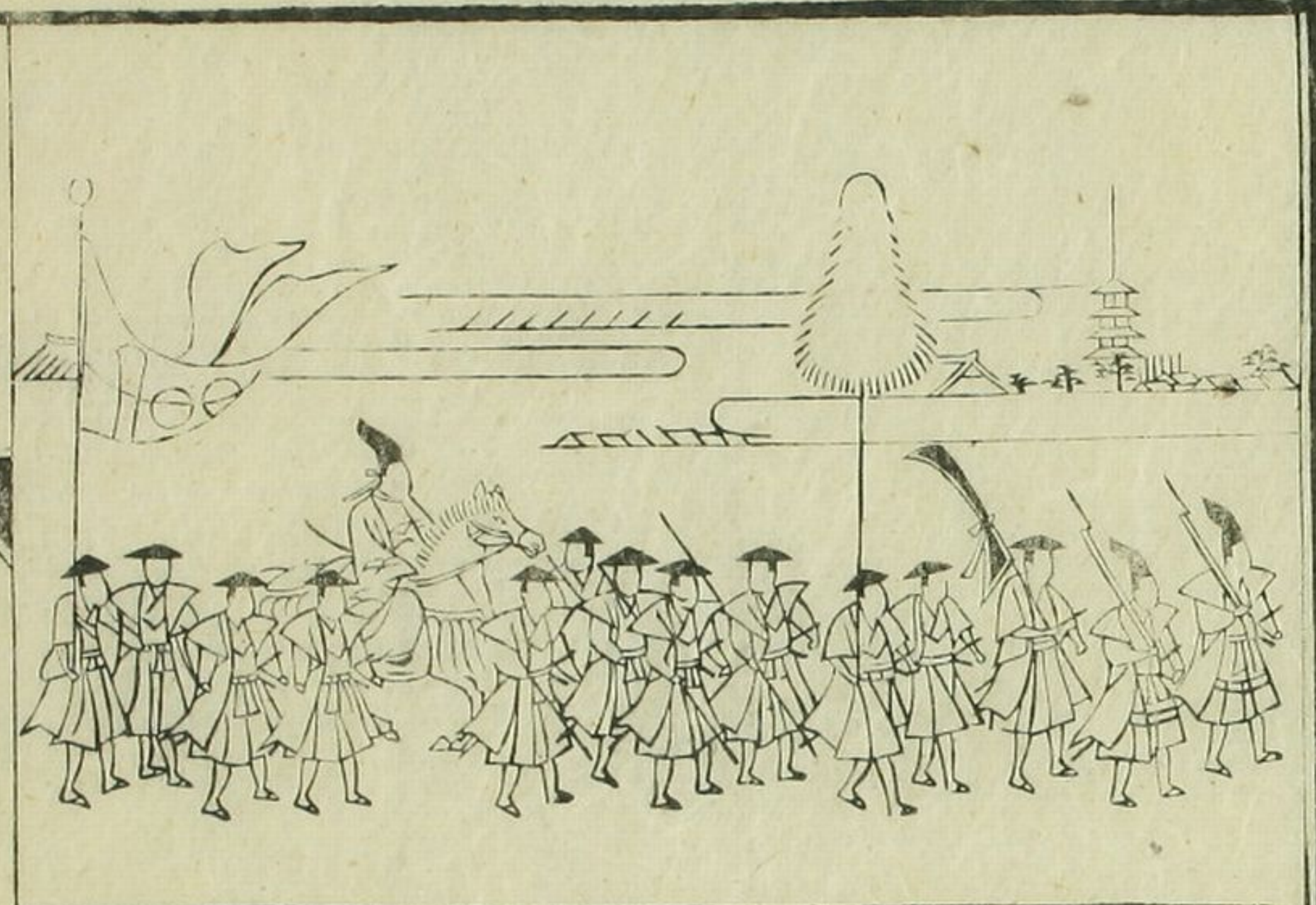


御馬 御衣 御櫃

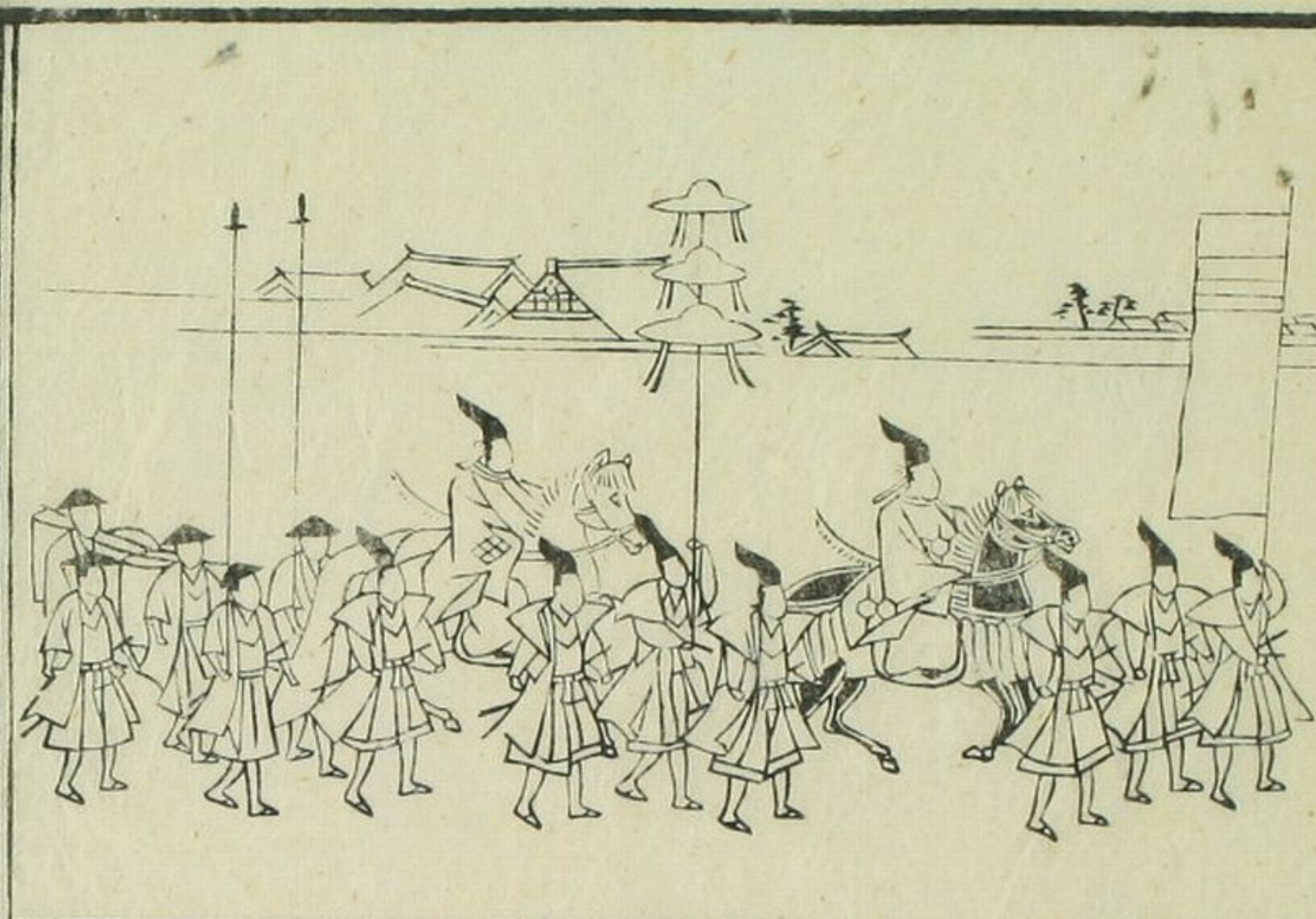
大島右馬大允
大島左馬大允

町尻前宰相量輔卿
錦織刑部卿久隆卿

藏人 松室丹波
醫 福井豐後守
伊良子織正守
高階備前守
西尾筑前守
山本玄蕃大允
坊城頭石中牙俊政
勸修寺右工門佐經理



藏北小路極蔭
細川藏人
壬生藏人
廣幡内大臣忠禮卿
德大寺大納言實則卿
中御門大納言宗有卿
出納 万里小路中納言博房卿
平田内藏頭
山科筑前守
小野備後守
真經大和守
林經大和守
神岡越中守
清水掃部介



平田権少外記
 青木雅樂
 下村主殿少
 小森維殿大
 日森維殿大
 鈴鹿主殿少
 舟橋武蔵大
 細川石京大夫護之
 銃隊
 毛利少將廣封朝臣
 津和野侍從茲監朝
 郡山甲斐守保申朝
 龜山図書頭信義朝
 織田出雲守信成朝
 松浦肥前守詮朝臣

森 對馬守俊滋朝臣

○雜說

此程 官軍方より百石より金三兩白米三俵充
 軍用としりさし出りマヤ昔沙汰有くはところ
 何故り俄にお止といよし舟橋辺の者中きりか
 り

○横湾新聞

佛蘭西帝先頃より喘息を疾と殆んと危
 しく急報来り

魯西亞の政府より波蘭人の兵器を携ゆる事を
厳禁し所持の兵器を收めたり尤も六ルールの
税を納め支配より許を得るを所持する事を得
るべしと云

